

## 在鸣门 2022 年 5 月 总第 179 期

五月的黄金周，大家都去哪里旅行了呢？今年的黄金周期间再请 2 天假的话，能凑出 10 天的假期，再加上时隔 3 年没有紧急事态宣言，许多景点恢复了往日的热闹。

ゴールデンウイーク、皆さんはいかがお過ごしでしたか。今年はさらに 2 日間の休みをとれば、10 連休の休みになりました。3 年ぶりに緊急事態宣言・重点措置も出ていなかったのも、多くの観光スポットがにぎわっていました。

鸣门的公路驿站くるくるなると在黄金周第一天正式开门迎客，驿站内设有食堂和选购鸣门特产的区域，2 楼有观景平台和人工草坪，可以带着小朋友一起玩耍。另外，公路驿站处也可以体验空中索道，该项目需要提前预约 <https://www.kurukurunaruto.com/>。

道の駅くるくるなるとは大型連休の初日でオープンしました。駅内には大渦食堂と物産を販売しているところがあります。2 階は見晴らしデッキと人工芝の斜面があります。子供と一緒に遊ぶことができます。さらに、道の駅でジャンプラインを体験することもできます。事前予約のウェブサイトは:<https://www.kurukurunaruto.com/>。



鸣门市内和大毛岛之间，有免费的摆渡船和几座大桥可供通行。摆渡船的话大概只需要 3 分钟就能到对面。小鸣门大桥的坡度较缓，人行道路也较为宽敞，在风雨较小的时候，可以骑自行车上去。大桥的最高点距离水面约 20 米，天气晴朗的时候，视野极好，能看到远处鸣门赛艇场地的漩涡公园。

鳴門市街地と大毛島は無料の渡船と何本かの大橋でつながっています。渡船に乗れば約 3 分で川を渡れます。小鳴門大橋の坂は割に緩くて歩道も結構広いので、風と雨が強くなければ自転車で渡れます。大橋の最高点から水面までは約 20 メートルです。天気がいいときは視界が広がり遠くのボートレース鳴門のウズパークまで見えます。



说到漩涡公园，黄金周的最后一天，公园内的 UZU HALL 里举办了手工艺品展销会。可以购买手工缝制品，体验传统彩绘，尝试演奏传统乐器尺八。我和德国的国际交流员 Dario 也支了个铺子，介绍了在各自国家流行的游戏。德国区有扑克游戏 Mau-mau，德式的打西瓜和油墨印刷。中国区有六子棋、剪纸和跳房子。下午 1 点，在主舞台进行保育员英雄表演，表演中告诉大家要早睡早起，不要熬夜，台下的大小朋友们纷纷点头表示同意。

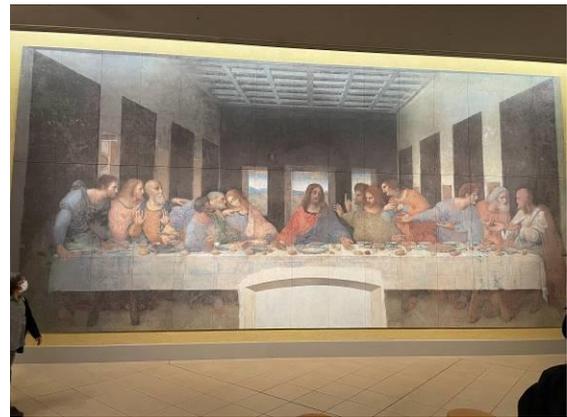
ウズパークといえば、大型連休の最後の日、パーク内のウズホールでハンドメイドマルシェが開催されました。洋裁作品の販売やトルペイントの体験、伝統的な楽器の尺八の演奏

体験もできました。私とドイツの国際交流員と一緒に、それぞれで流行ったゲームを紹介しました。ドイツコーナーはトランプゲーム「マウマウ」、ドイツ式のスイカ割とガリ版印刷です。中国コーナーは六子棋（リュウ・ズ・チー）、剪紙と中国式の石蹴り遊びです。午後1時にステージで待ちに待った保育士ブレイクヒーローショーが開幕しました。来場の皆さんにあまり徹夜しないよう、ショーを通して伝えていました。下で見ていた子供と大人たちは思わず頷きました。



5 月的一个周末，去参观了著名的大家国际美术馆，这里的门票从高中生以下-大学生到成人依次为 550 日元-2200 日元和 3300 日元。要仔细看全部的大约 1000 多幅陶板画需要将近 1 天的时间，建议上午就前来开始参观。在这里能够看到例如：达·芬奇的《蒙娜丽莎》和《最后的晚餐》，梵·高的《向日葵》，约哈内斯·维米尔的《戴珍珠耳环的少女》，伊利亚·叶菲莫维奇·列宾的《伏尔加河上的纤夫》等等。这些出现在教科书中的画作，能够通过陶板把原来的大小展现在眼前，那种感觉很神奇。

5 月のある週末、有名な大塚国際美術館に行きました。小・中・高生、大学生、一般のチケット代はそれぞれ 550 円、2200 円、3300 円です。陶板で再現された約 1000 余点の西洋名画を全部見回るのはおおむね一日かかります。午前から来館することをお勧めします。大塚国際美術館では以下の有名な作品が鑑賞できます。例えば：レオナルド・ダ・ヴィンチの「モナ・リザ」「最後の晩餐」、ゴッホの「ひまわり」、フェルメールの「真珠の耳飾りの少女」、イリヤ・レーピンの「ヴォルガの船曳き」などです。教科書で見た傑作が陶板でありのままのサイズで再現していることは、本当に不思議です。



天气渐渐热了起来，马上就要来到梅雨季节。一直生活在北方的我对梅雨季节还没有什么印象，欢迎大家谈谈自己是怎样度过梅雨季节的。

天气がだんだん暑くなってきますが、もうすぐ梅雨のシーズンに入ります。ずっと中国の北の方で生活する私はあまり経験がありません。梅雨の時期にどのように過ごすか、みんなで話し合ってみませんか。

所属：鳴門市文化交流推進課

住所：鳴門市撫養町南浜字東浜 170 (〒772-8501)

TEL：088-684-1214／FAX：088-683-0237

E-mail：bunkakoryu@city.naruto.i-tokushima.jp

作成：呉 世康